

所沢市 財政トークス



第38号「令和6年度当初予算」
所沢市財務部財政課 令和6年5月発行

所沢市の財政について、わかりやすくお伝えするために発行している所沢市財政トークス。今号は、令和6年度当初予算について、「1 予算総額」「2 歳入予算」「3 歳出予算」の3本立てでお送りします。

財政に詳しい方も、普段あまりなじみのない方も、この機会に、所沢市の財政について新しい発見をしていただき、興味を持っていただけたら幸いです。

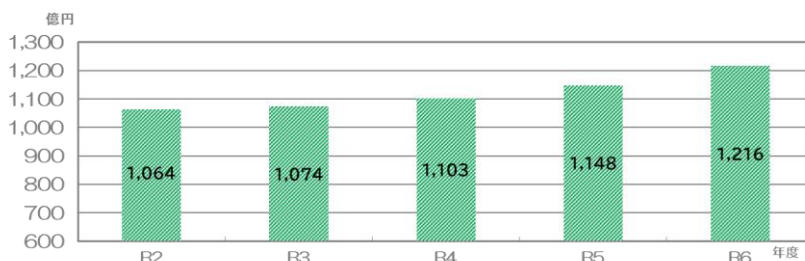
1 予算総額

一般会計予算総額 1,216 億 4,100 万円

3月14日に議会で予算案が可決され、令和6年度当初予算額が決定しました。

予算総額は、一般会計で1,216億4,100万円、特別・企業会計を含めると、2,129億4,071万円となりました。

一般会計予算額の推移



子ども施策を拡充した
予算になっているよ



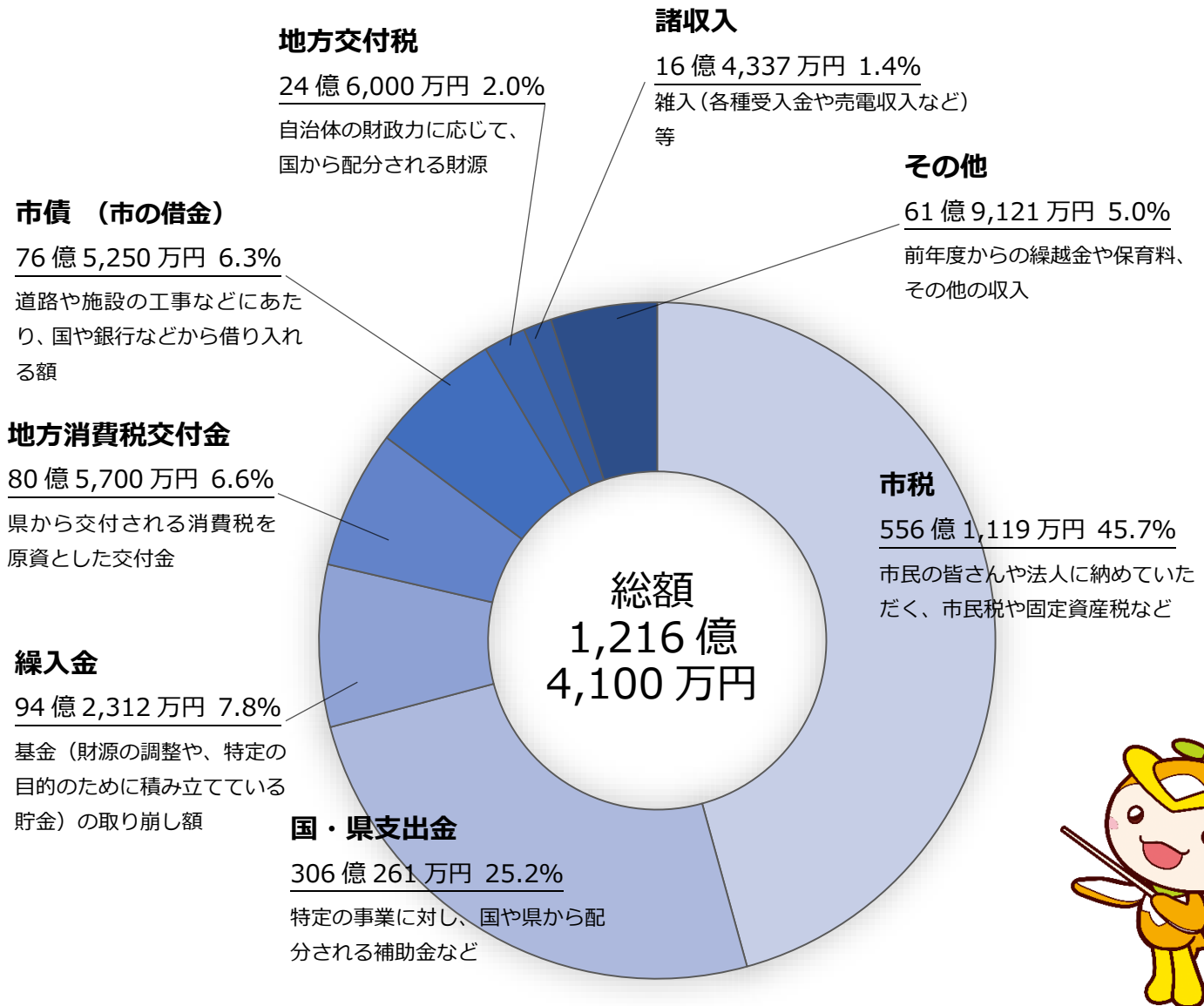
一般会計予算総額は、前年度比 68 億 1,100 万円増で**過去最大**となり、7年連続で 1,000 億を超える予算規模となりました。

学校給食センター建設工事の完了に伴う減(約 22 億 7,200 万円)や新型コロナウイルスワクチン接種事務委託料の減(約 5 億 5,000 万円)があった一方で、第 2 一般廃棄物最終処分場整備工事に係る費用の増(約 31 億 9,200 万円)や歳出の約半分を占める民生費(福祉に係るお金)が社会保障経費を中心に増額(約 33 億 4,000 万円)となったことが増額要因として挙げられます。

また、今年度の予算では、「**小・中学校の給食費無料化**」に係る費用として約 12 億 6,300 万円を計上したほか、「**18 歳までの医療費無料化**」に係る費用として約 1 億 3,600 万円を新たに計上し、子ども施策を拡充した予算となっています。

次のページからは、歳入・歳出の概要について、お伝えしていきます。

2 歳入予算



◆◆ 昨年度と比べて大きく変わったところは？ ◆◆

↑増額↑…繰入金(+31億8,301万円、+51.0%)

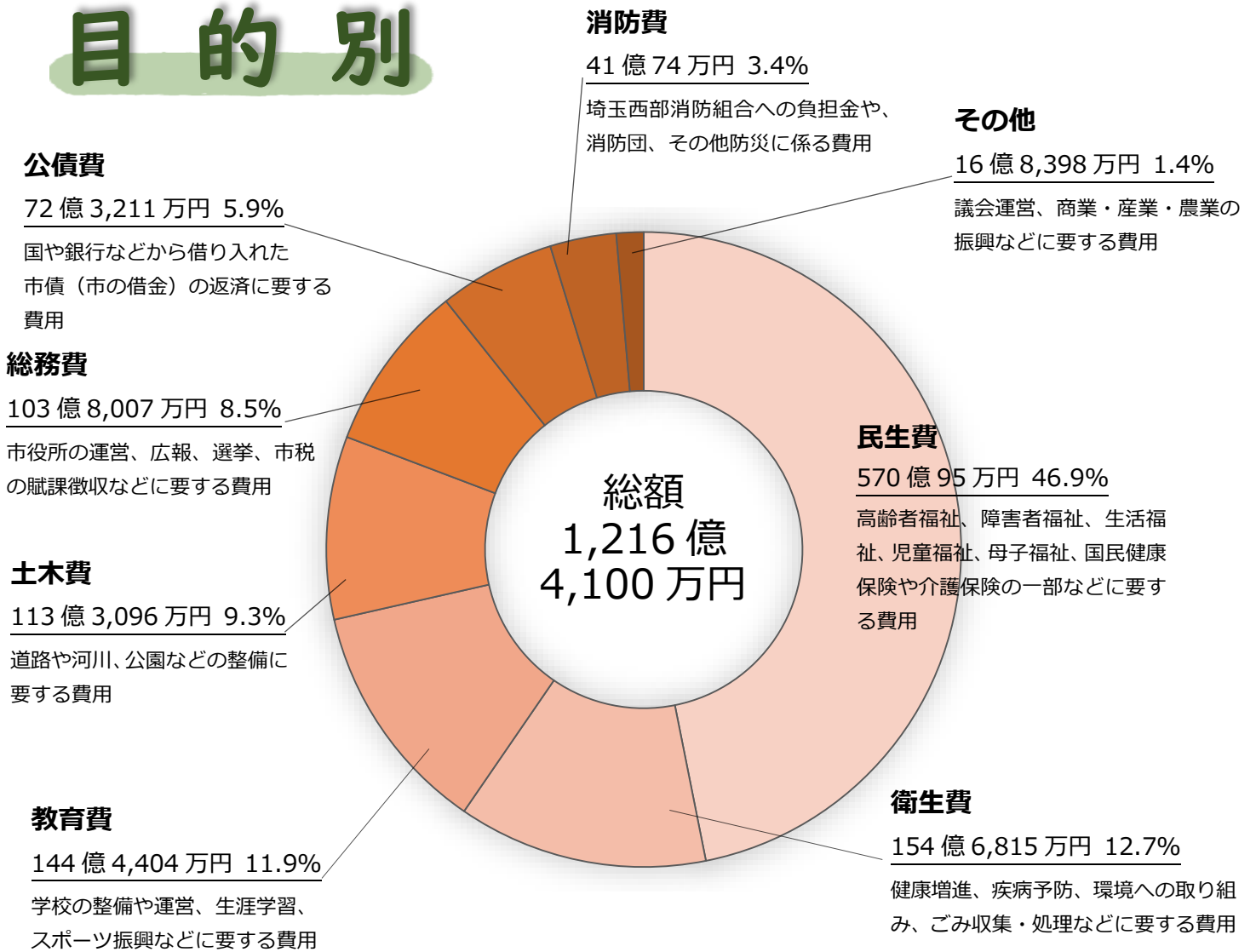
災害などの不測の事態や年度間の財源不足に備えて積み立てている財政調整基金からの繰入金の増額(前年度当初予算比 17億575万5,000円)や施設の修繕に備えて積み立てている施設整備基金からの繰入金の増額(前年度当初予算比 8億656万7,000円)を主な要因として、増額となりました。

↑増額↑…諸収入(+4億4,664万円、+37.3%)

戸籍関連業務や税務関連業務など 20業務の標準準拠システム移行に伴うデジタル基盤改革支援補助金の増額(前年度当初予算比 4億2,147万3,000円)を見込んだことにより、増額となりました。

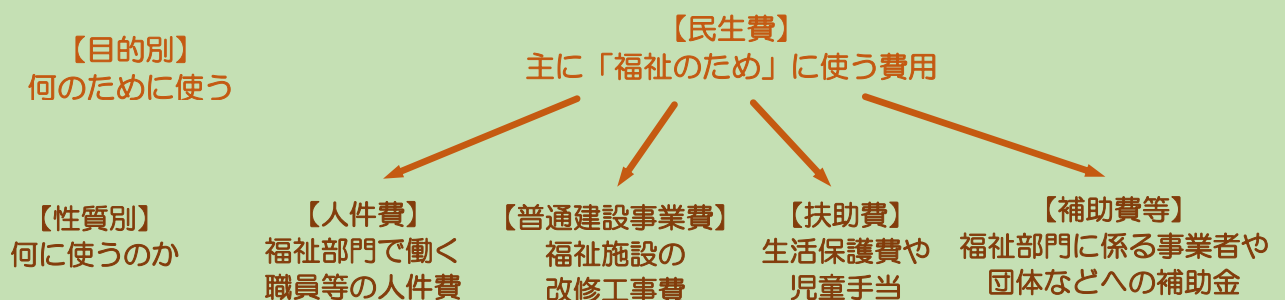
3 歳出予算

目的別



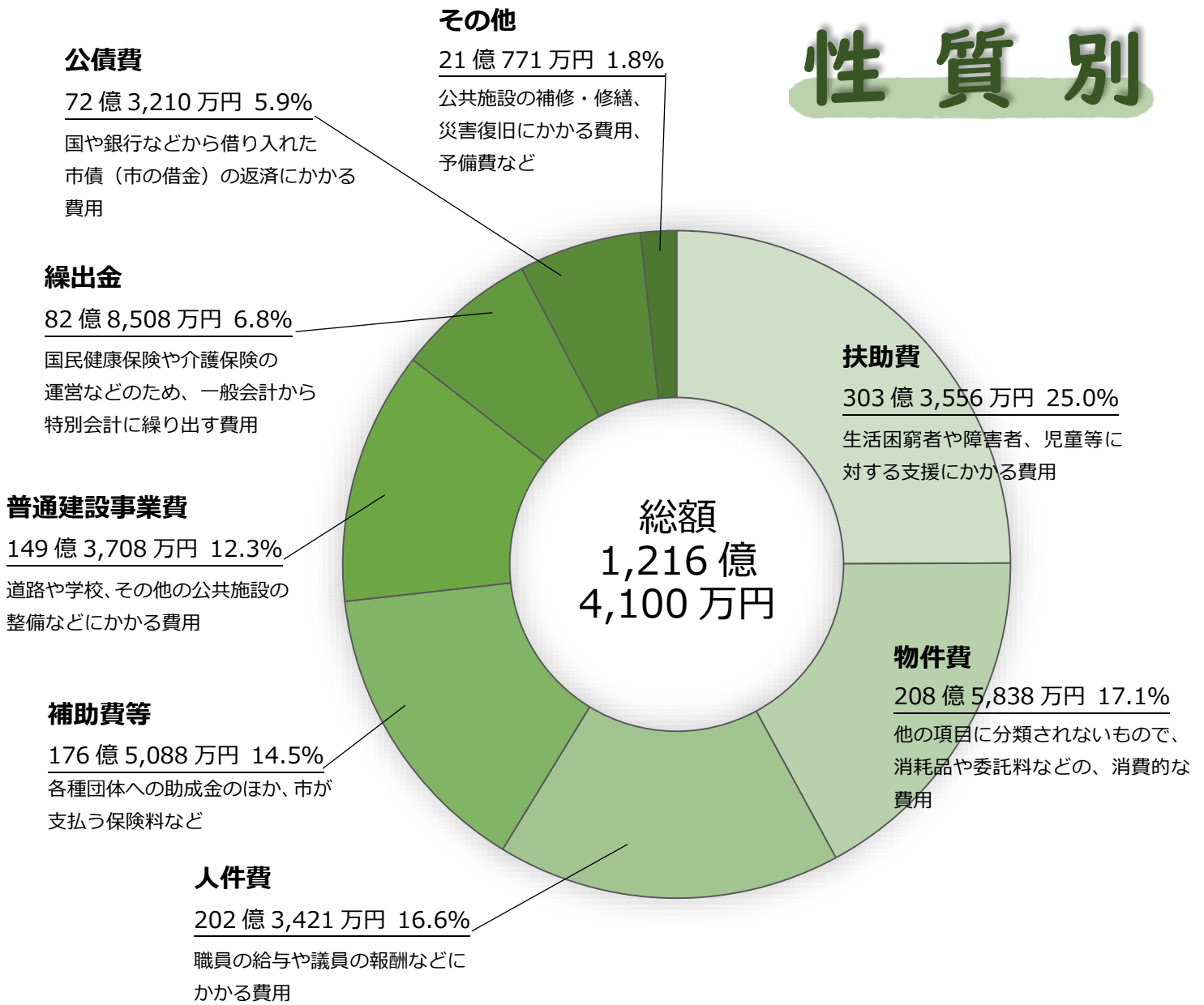
「目的別」と「性質別」はどう違うの？

歳出には、このページの「目的別」、次ページの「性質別」の2通りの分け方があります。ちょっとわかりづらいこの2つの違いを、目的別の民生費を例に見ていきたいと思います。



このように、目的別の中のいろいろな費用を、考え方を変えて分類し直したものが「性質別」で、自治体の財政の特色などを測る指標としても活用されています。

性質別



他の市の予算額はどのくらい？

	人口（令和6年4月1日現在）	一般会計予算総額	1人当たりの予算額
所沢市	340,851人	1,216億4,100万円	356,874円
川越市	354,346人	1,283億5,000万円	362,216円
越谷市	339,159人	1,157億円	341,137円
狭山市	147,154人	535億4,700万円	363,884円
入間市	142,649人	512億3,500万円	359,168円
飯能市	79,414人	304億5,000万円	383,433円
日高市	53,507人	241億6,000万円	451,529円

令和6年度の予算額を県内の人口同規模の市や近隣市（ダイア5市）と比べてみました。人口と予算額はある程度比例しており、人口1人当たりの予算額は概ね似通った数字となっています。市民一人当たりには、大体このくらいの予算が必要なのが見えますね。

3・4ページで歳出予算について見てきましたが、ここでは、前年度と比較し、特に増減割合が大きいものについてご紹介します。

増えた？
減った？



歳出予算（目的別）

↑増額↑…衛生費(+31億7,020万円、+25.8%)

第2一般廃棄物最終処分場整備工事費の増額(前年当初予算比 31億9,209万1,000円)を主な要因として、増額となりました。

↑増額↑…民生費(+33億3,949万円、+6.2%)

支給対象が高校生まで拡充されることなどによる児童手当・特例給付の増額(前年度当初予算比 4億8,484万円)、18歳までの医療費無料化による子ども医療費の増額(前年度当初予算比 3億4,479万4,000円)を主な要因として、増額となりました。

↓減額↓…教育費(▲4億9,334万円、▲3.3%)

小中学校給食費無料化による学校給食費補助金の皆増(前年度当初予算比 12億6,299万3,000円)などの増額があるものの、第2学校給食センターの建設工事が完了したことによる建設工事費の皆減(前年度当初予算比▲22億7,165万1,000円)を主な要因として、全体では減額となりました。



歳出予算（性質別）

↑増額↑…普通建設事業費(+32億3,200万円、+27.6%)

第2一般廃棄物最終処分場整備工事費の増額(前年当初予算比 31億9,209万1,000円)、所沢駅ふれあい通り線立体交差工事負担金の増額(前年度当初予算比 10億3,000万円)を主な要因として、増額となりました。

↑増額↑…補助費等(+13億2,576万円、+8.1%)

小中学校給食費無料化による学校給食費補助金の皆増(前年度当初予算比12億6,299万3,000円)を主な要因として、増額となりました。

↓減額↓…公債費(▲2億939万円、▲2.8%)

臨時財政対策債^{*}の元金と利子の減額(前年度当初予算比2億9,441万2,000円)を主な要因として、減額となりました。

^{*}国が地方公共団体に交付する地方交付税の財源不足に対処するため、その不足分の一部を一旦地方公共団体が借り入れる地方債